

工事の安全度向上のために

平成24年2月23日、工事中における土石流や斜面崩壊など自然災害から、現場作業員の安全を確保するため、「平成23年度越美山系砂防事務所安全協議会」が事務所で開催されました。この協議会には、当事務所の工事、業務委託の担当者らが総勢51名が出席。佐藤事務所長の主催者挨拶の後、大塚副所長から事故発生状況、事故からの教訓等を説明。工事現場技術者の日頃の取組について、6現場の事例紹介。参加者からも、積雪時の斜面監視や効果的な安全対策等の質問がありました。

ここで得られた先進的な取り組みを共有していくことで、労働災害を防止し工事等を安全に推進していきたいと考えています。



円滑な事業執行のために

越美山系砂防事務所では、月に1回、事務所職員全員が集まる会議を開催(写真A)。職員全員参加のこの取組は、中部地方整備局でも珍しい取組。この他、皆様に理解を得る重要な手段となる広報活動を決定する会議(写真B)や職員の技術力向上のための現場研修会(写真C)、職員の倫理観向上のための研修会(写真D)を開催し、円滑な事業執行を目指しています。



=あの日を忘れないために=

平成23年3月11日に発生した東日本大震災から1年が過ぎようとしています。

今回の災害を教訓に地域の防災力の一層の向上と被災地への思いを風化させないために、この復旧に係わる一連の活動を振り返った東海・東南海・南海地震対策中部圏戦略会議パネル展「東日本大震災から1年」を越美山系砂防事務所で開催中。当事務所の近くへお越しの際は、皆様も是非ご覧ください。

東海・東南海・南海地震対策中部圏戦略会議HP
<http://www.cbr.mlit.go.jp/senryaku/senryaku.htm>



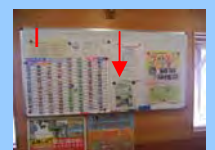
地域の皆様とともに

瀬戸(せと)谷では、本年度も1mを超える積雪を記録。現場近くの独居老人宅では、除雪に苦慮されているのを見かけて、現場作業員が玄関付近の除雪作業を実施(写真E)。エノマ谷では、動物の糞尿で不衛生になっていた保育園の砂場の砂の入れ替えを実施(写真F)。また、エノマ谷では、現場作業員の好意により、復旧した階段に手すりをつけ、使用される方への配慮を行いました。(写真G)。これからも、地域の皆さんとともに砂防事業を進めていきたいと考えています。



H22年度は小学生に見学に来ていただきました。

平成23年度下半期に入り、ある工事の監理技術者より「現場通信」を立ち上げようとの意見をいただいた。このため揖斐川砂防出張所では、各現場持ち回りで広報誌を試行的に作成中。本号では、今までに発行された現場通信を次のとおりご紹介いたします。(※少し古い内容も含まれます。)



敷原(しきはら)谷では、現場通信を道の駅に掲示しました。



越美山系砂防事務所1階に展示中です。ご自由にご覧ください。
 展示期間等：平成24年2月17日～3月30日
 8：30～17：15(土日祝日を除く)

平成22年度 越美山系大谷川第3砂防堰堤資材運搬路工事

施工・・・株式会社久保田工務店

みなさん、こんにちは。一日一日寒くなっていきますね。
今年も、残すところ、あと一ヶ月となり、大谷川の現場では、11月22日に雪がちらつき、上流の山は白い帽子を被りました。



この現場は、第3砂防堰堤を造る為の資材運搬路を新設しています。
今回は2期目の施工ですが、前回の工法とちがうのは、盛土材に気泡混合盛土(エアームルク)を使用し、その上部に前回と同じ補強土壁にて盛土を行う工法です。
11月25日の時点では、気泡混合盛土は完了し、補強土壁を急ピッチで施工しています。



エアームルク施工状況



補強土壁施工状況

工期も残り1ヶ月となりましたが、寒さと時雨に負けない様、さらに事故の無い様に頑張って完成させたいとおもいます。

株式会社久保田工務店 現場代理人 石原 敬太
監理技術者 中田 朗

平成22年度 越美山系 エノマ谷第1砂防堰堤工事

(施工箇所：本巣市根尾大井地先)

施工：株式会社 所組

土砂災害を無くして **安全安心** な地域をつくります

平成22年度 越美山系エノマ谷第1砂防堰堤工事



地元の皆様には、ご迷惑をおかけ
しますが宜しくお願いします

国土交通省

中部地方整備局
越美山系砂防事務所
TEL.0585-22-2162

揖斐川砂防出張所
TEL.0585-22-3526

施工者

株式会社 所組
TEL.0581-38-2561



守田 康司
監理技術者



堀江 弘道
現場代理人



工事が終わるとこんな感じになるよ

初春の頃から始まったこの工事もう初冬の季節を迎え、あと完成まであと一歩のところですよ。このエノマ谷第1砂防堰堤は、平成19年度から着工し4期目を向かえ数社の会社がリレーして行ってきて今回で完成の予定です。

写真は、平成23年10月末の現場の様子です。

引き続き地元の皆様には、ご迷惑をおかけする場合がありますが、あとしばらくのご協力をよろしくお願いいたします。



管理道路



砂防堰堤

その土地固有の自然を残す工事を目指して ～ 日洞谷第1砂防堰堤工事 施工者：(株)山辰組 ～

ここ数年前から、動物、魚、草花などに外来種（外国生まれの種類）が増えてきたと、ニュースの報道等で良く耳にします。

これは、外国から輸入した物品に、卵やタネが混入してきたり、安価な、またはカッコイイ外国産を好んで使ってきた結果です。

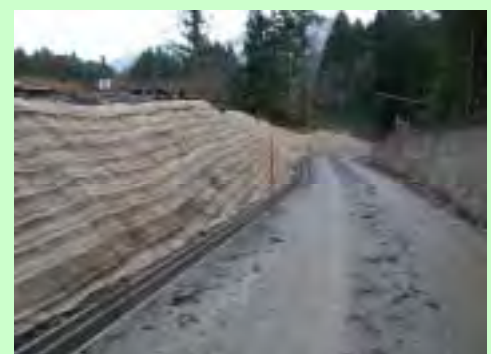
工事現場においても、山を掘ったり、谷を埋めたりした土の面（のり面）を崩れないように草のタネを植え付けて保護しますが、安価な外来種のタネをつかうことも少なくありません。

越美山系砂防事務所発注工事では、これらの保護に在来種（日本生まれの種類）のタネを使っていますが、本巢市根尾長嶺で工事を進めている、日洞（ひぼら）谷第1砂防堰堤工事（株式会社 山辰組 施工：揖斐郡大野町）では、もうひとつ先に進んだ、のり面の保護をしています。

のり面に植えつける購入した草のタネを通常の半数程度にし、残りの半数は周辺の草花のタネが飛来して発芽することができる場所（飛来ステーション）を装備した、マット（イースターマット）を使用した保護です。

これを使用することにより、人工的ではなく、その土地固有で生息する草花を咲かせることができます。

建設工事は自然に手をかける仕事であるからこそ、できる限りその土地の自然が残る方法を考えて行きたいです。



【 保護が完了した道路 】



日洞谷第1砂防堰堤の工事現場

雪が積もる前に...とがんばっています。

【 平成23年12月 1日 撮影 】

越美砂防現場だより

～ 敷原谷第1砂防堰堤工事が行っている砂防事業について紹介します ～

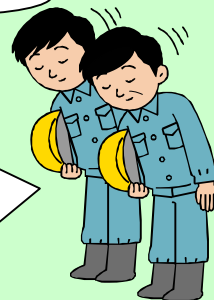
本工事を担当させていただきます

田中建設工業株式会社の
現場代理人の 東（あずま） です！
監理技術者の 山口（やまぐち）

施工期間中は、生コン車・大型ダンフ等が通行しますが、交通安全に対する教育・指導は工事関係者全員に徹底します。

近隣の方々には御迷惑をお掛け致しますが、何卒ご理解ご協力の程

宜しくお願い致します。



本工事で行っている、砂防ソイルセメント（INSEM）工法について、説明させていただきます。

砂防ソイルセメントとは、現場発生土砂をセメントで混合した材料で、これまでのコンクリートに変わる築堤材料です。

1. 土砂を10cm未満にふるい分ける



2. 土質改良機械でセメントを混合する



現場全体写真



本堤

3. INSEM材を敷均す



4. INSEM材を締め固める



問い合わせ先

田中建設工業株式会社
TEL 0581-38-2531

平成23年度 越美山系高地谷第1砂防堰堤資材運搬路工事

平成23年度 越美山系大蔵谷第1砂防堰堤道路工事

砂防堰堤の新設にあたり現林道の付け替え工事及び河川の転流工事をしています

平成23年度 越美山系高地谷第1砂防堰堤資材運搬路工事

工期 平成23年8月26日～平成24年5月21日

実施者 国土交通省 中部地方整備局 越美山系砂防事務所 揖斐川砂防出張所 TEL.0585-22-3526

施工者 西濃建設株式会社 TEL.0585-54-0214

現場代理人 高木辰祐 監理技術者 高木克英

工法説明図

道路工

- 1 基礎・パネルの設置
- 2 壁面固定
- 3 盛土材 締固め
- 4 完成

転流工

- 1 母材のフルイ分け
- 2 セメント・母材との混合
- 3 B H 打設
- 4 振動ローラーによる締固め
- 5 完成

補強土壁工

仮橋工

今回の施工箇所

締切工①

締切工②

9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	備考

大蔵谷第1砂防堰堤の付け替え道路を作っています

平成23年度 越美山系大蔵谷第1砂防堰堤工事

工期 平成23年8月11日～平成24年3月23日

実施者 国土交通省 中部地方整備局 越美山系砂防事務所 揖斐川砂防出張所 TEL.0585-22-3526

施工者 西濃建設株式会社 TEL.0585-22-1226

地元の皆様には、ご迷惑をおかけしますがご理解ご協力を宜しくお願いします。

掘削

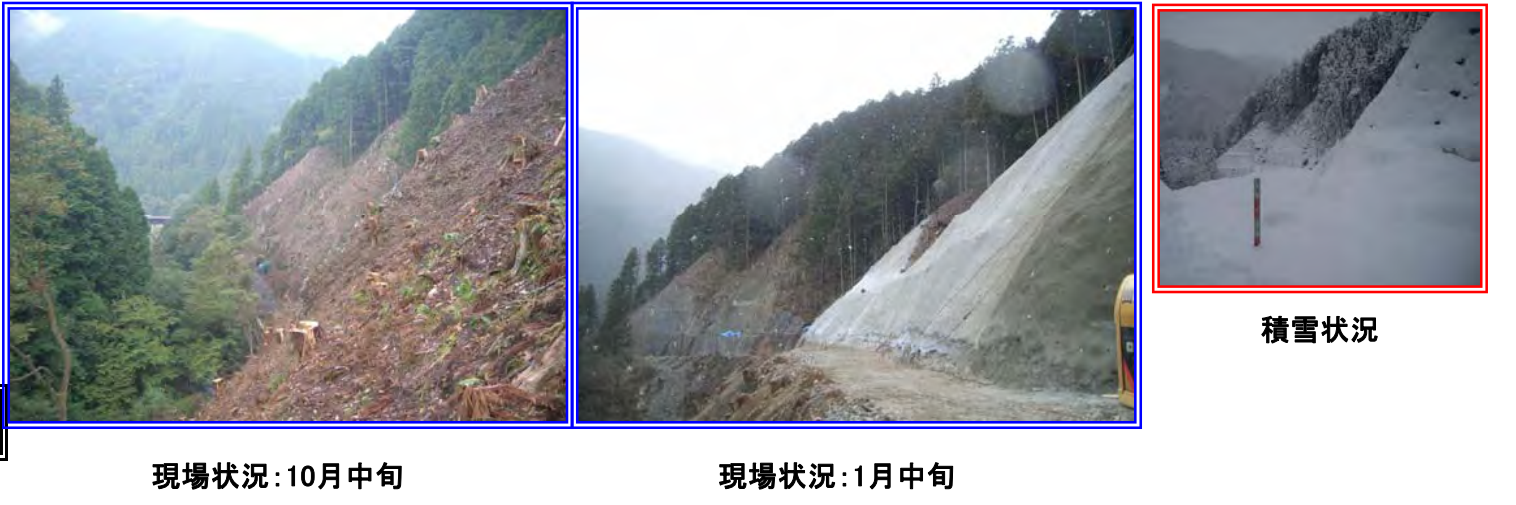
今年度の施工は8月末からでしたが 9月末の台風の影響で 主要林道の路肩が 崩落してしま いて着手時期が、11月末からとなりました。例年ですと 12月初旬には雪に視まわれるのですが、12月 末まで積雪に視まわれず 末頃に 積雪【事務所で85cm】となりました。今回の施工は 仮橋設置 河川内の締切工①、②と補強土壁となっております。1月現在 仮橋の設置は終わり 締切工① が75%終了し 積雪の為 除雪を行っての施工となっております。

毎日 雪と寒さに負けないように がんばっています。無事故無災害で終われるように 完成させたい と思います。

この工事は、大雨等により大蔵谷からの土砂や木の流出を抑制する目的の砂防えん堤を作る ことに伴い分断されてしまう、林道大蔵谷線の付け替え道路を作る工事です。

下の10月中旬の写真は、道を作る場所の杉やヒノキを伐採した後のものです。地形がとても 急峻で危険な現場だと感じましたが、作業をされている方々の協力により現在まで無事故でき ています。積雪等もありますが最後まで事故の無いように頑張って完成させたいと思います。

引き続き、現場の出入口等におきまして、ご迷惑をおかけする場合がございますが、あ としばらくのご協力をお願い致します。



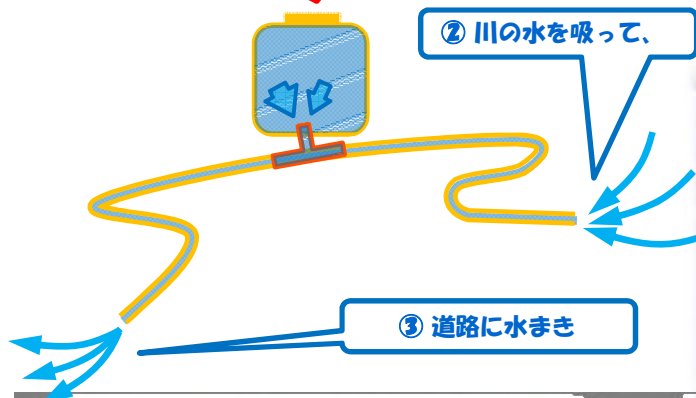
平成23年度 越美山系瀬戸谷第1砂防堰堤道路工事

施工：株式会社 山辰組

モーターもエンジンも使用しないで“散水”しています！

工事現場を出入りするダンプカーなどが、道路を汚さないようにタイヤに付いた泥汚れを落としたり、道路に積もった雪を溶かすためにしていますが、瀬戸谷の現場では、サイホンの原理を応用した無動力の装置を使用しています。

① タンクに入れた水のみで・・・



散水した水は、現場出入口の水路で回収するので、県道までには出ていきません。

※ 凍結防止のため、夜間は水を止めています。